上毛新聞　1995年（平成7年）4月6日（木曜日）（16）

食事出ない人来ない

出入り半減の事務所も
遊説、街頭演説が軸

様変わり県議選

統一地方選第一弾となる県議選が、これまでと様変わりしている。事務所によっては、人の出入りが半減、お茶菓子程度を用意する事務所が主流で、支持者らに食事を提供する、いわゆる「レストラン」「食堂」の姿を消している。「選挙所の改正で食事は出せません」とはっきり掲示する事務所もある。昨年の公職選挙法の改正で連座制の適用範囲の拡大と制限の強化が盛り込まれ、各陣営が敏感に反応した結果とみられる。

選挙特散をこう話す。事務所の出入りはこれまでの選挙に比べ減少し、改正法の影響と明言する。別の陣営も「選挙スタイルそのものを変えざるをえない」と戸惑い気味。

「不回の選挙は事務所を半分にしても間に合う」の声さえ上がっている。

西毛の選挙区では、事務所の規模が減っているのが目立つ。演説会にもお年代わりに街ジャーズを出す事務所も。「こんなに事務所への出入りはない。街頭での「お願いします」の呼び掛けが運動の中心となっている。北毛の選挙区でも事情は同じ。遊説、街頭演説が選挙運動の軸となる。

遊説制の強化だけでなく、今回は三年前の公選法改正でポスターの作製や選挙カーの費用なども公費負担となってから初めての選挙。お金のかからない選挙とともに、選挙費用の透明度を増すなど、実際の戦い方が変わっている。

東毛の選挙区。「出陣式でもお茶に鉢巻を配るのが精いっぱい」と話す陣営。支持者から「何をやっているんだ」の声が出た中、「食事を出さないから人が集まらない」。中毛の選挙区でも事情は同じ。遊説、街頭演説が選挙運動の軸となる。

「食事を出さないから人が集まらない」。中毛の選挙区でも事情は同じ。遊説、街頭演説が選挙運動の軸となる。

「今回の選挙は事務所を半分にしても間に合う」の声さえ上がっている。

西毛の選挙区では、事務所の規模が減っているのが目立つ。演説会にもお年代わりに街ジャーズを出す事務所も。「こんなに事務所への出入りはない。街頭での「お願いします」の呼び掛けが運動の中心となっている。北毛の選挙区でも事情は同じ。遊説、街頭演説が選挙運動の軸となる。

遊説制の強化だけでなく、今回は三年前の公選法改正でポスターの作製や選挙カーの費用なども公費負担となってから初めての選挙。お金のかからない選挙とともに、選挙費用の透明度を増すなど、実際の戦い方が変わっている。

東毛の選挙区。「出陣式でもお茶に鉢巻を配るのが精いっぱい」と話す陣営。支持者から「何をやっているんだ」の声が出た中、「お茶